

説教要旨『自由を与える律法』

出エジプト記 20：1～6

旧約聖書の最も大事で、代表的な律法は『十戒』です。

『十戒』と言い、『律法』と言い、どちらも、私たちの生活の自由を束縛する感じがあります。キリスト教に好意を抱く人がいても、実際に信仰を持つ人が必ずしも多くないのは、そのことも影響しているかもしれません。

私自身、聖書を読むようになって求道し、キリストが神の御子、救い主らしい、と思うようになって、信者になることをちゅうちょした一つの理由はそれでした。

しかし、実際にクリスチャンになってみて、それが誤解であったことを、今は知っています。

映画『十戒』を見た方は覚えているかもしれませんが、神がイスラエルのために十戒を与えたのは、イスラエルの民がエジプトの奴隷状態から解放された後でした。この十戒の前書きに当たる出エジプト記 20:2 でも「わたしは、あなたをエジプトの国、奴隷の家から連れ出したあなたの神、主である。」と宣言しておられます。すなわち、奴隷の家から解放されたイスラエルの民が、解放された自由な立場に留まるために、この十の言葉が必要である、という意味です。

人間は、天地の創造主で人間の創造主でもある神様を神として尊ぶのでなければ、結局、他の人間や財産、名誉、地位などの奴隷になってしまうのです。

イエス・キリストはこう言われました。

「もしあなたがたが、わたしのことばにとどまるなら、あなたがたはほんとうにわたしの弟子です。そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたに自由を得させます。」(ヨハネ福音書 8:31, 32)

キリストのことばにとどまる人は、人間本来の生き方に基づく神の自由を得るのです。反対に、一切のもののからの自由を理想とし

て、神のことばを無視するならば、他の人間や財産、名誉、地位などの奴隷になってしまうのです。

神の自由を与える『律法』を学びましょう。

確かに罪にそまった人間は、自分の力では律法を守ることができません。そのような人間のために、キリストは律法のすべてを全うし、しかも私たちの律法違反の責めを十字架上で負って死んで下さったのです。それで、自分の罪を悔いて、イエス様が自分の罪の罰を代わって受けて下さったと信じ、告白する人は、その罪を赦され、神の子として受け入れていただけます。それは、すばらしい恵みです。そして、信じる人が神様に喜ばれる者となるように力を与えて下さるのです。また、神様に喜ばれる生き方へと変えて下さるのです。

そのような恵みは『律法』を学ぶことによって強められるのです。